

















九 渡邊章氏述

さたる事<sup>こと</sup>を甘んじ居<sup>ゐ</sup>れるとミヨノ  
フ、ホルワツト、ロゾノフ氏<sup>し</sup>常<sup>とこ</sup>時<sup>とき</sup>有<sup>あ</sup>る  
が如何<sup>いか</sup>なる感<sup>かん</sup>應<sup>おう</sup>に出<sup>で</sup>づるや<sup>や</sup>は  
れてゐた釋<sup>しやく</sup>尊<sup>そん</sup>を直<sup>ちやく</sup>に拜<sup>はい</sup>まれ「願<sup>がん</sup>  
にも出来<sup>でき</sup>るのよいきさ、出来<sup>でき</sup>る  
ミ詠<sup>よ</sup>んだのは、同<sup>どう</sup>人<sup>じん</sup>の作<sup>さく</sup>と思<sup>おも</sup>は

統一か自立か

たる事を甘んじ居れる七ミヨノ  
フ、ホルワツト、ロザノフ氏等  
が如何なる態度に出づるやは説  
かれてゐた舞臺を前に拜まれ「劇  
にも出来のよいさき、出来

第七一 華座想

の中に在つて類圖懺悔せられ、三詠んだのは、同人の作。忠  
當詳者國圖に在つて法を説かれないほき拙いだ、ヤハリ古  
れてゐた釋尊を遙に拜まれ「願にも出來のよいさきき、出來

## 蜀山人の狂歌

詠んだのは、同人の作と思  
ないほゞ拙いだ、やはり古  
も出来のよいときぞ、出来

廣告料：一頁：金七  
販賣：鮮內各地書店

新龍山三角地  
電話一九〇一番  
龍山代理店 京屋 京染店

愛用者の福

總元  
勝久京城支店  
電話一九〇一番  
新龍山三角地

若し……君が

夜生石鹼

それは  
帝國陸海軍 帝國醫科大學

視に無時を威に權をのす

をも併せて排斥せん

【とすらものである！】

景品 御買

賣出 金額一 拾一 兩

仕候 貳圓 持金 業 迄 空籤 宮内省 人孫

鐵壹  
時計  
券  
券  
用達  
百種

明本町

店發  
の本  
の店  
御引  
京  
都  
司

の商  
居共  
しも  
可申  
演  
阪  
岡

便付は

無何左

集卷歌注單













